

令和6年5月1日

魚沼市議会議長 森島 守人 様

福祉文教委員会
委員長 星野みゆき

福祉文教委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 現地調査
 (2) 現地調査の総括
 (3) その他

- 2 調査の経過 5月1日に委員会を開催し、所管する教育委員会の関係施設について現地調査と総括を行った。
 その他で、路線バス「小出＝荒金＝浦佐線」の運行終了について、障害者相談支援事業に係る消費税について、高齢者施設整備の進捗状況について及び教育委員会関係報告事項について執行部から報告を受け質疑を行った。
 そのほか、福祉文教委員会の行政視察について協議した。

福祉文教委員会会議録

1 調査事件

(1) 現地調査

- ①旧広神庁舎
- ②フラワールーム
- ③広神東小学校
- ④堀之内中学校

(2) 現地調査の総括

(3) その他

- ・路線バス「小出＝荒金＝浦佐線」の運行終了について
- ・障害者相談支援事業に係る消費税について
- ・高齢者施設整備の進捗状況について
- ・教育委員会関係報告事項
- ・福祉文教委員会の行政視察について

2 日 時 令和6年5月1日 午前10時

3 場 所 本庁舎3階 委員会室

4 出席委員 横山正樹、星野みゆき、大平恭児、佐藤敏雄、関矢孝夫、高野甲子雄

5 欠席委員 なし

6 説明員 樋口教育長、吉澤市民福祉部長、大塚教育委員会事務局長、戸田市民福祉部副部長、小林生活環境課長、茂野介護福祉課長、岡部学校教育課長、青柳生涯学習課長、須佐教育センター次長

7 書 記 坂大議会事務局長、大竹主任

8 経 過

開 会 (10:00)

星野委員長 それでは定足数に達していますので、ただいまから福祉文教委員会を開会します。かねてより現地調査を望んでおりましたGIGAスクールの現状をしっかりと見ていただき、フラワールームも今はまだそんなに子どもはいないのかもしれませんが、どんな状況かをしっかりと見てきていただきたいというふうに思っております。

（１）現地調査

①旧広神庁舎

②フラワールーム

③広神東小学校

④堀之内中学校

星野委員長　　日程第１、現地調査についてを議題といたします。本日は、旧広神庁舎、フラワールーム、広神東小学校、堀之内中学校の現地調査となります。旧広神庁舎１階では文化財展示スペースについて、３階のフラワールームでは適応指導教室について、広神東小学校と堀之内中学校ではGIGAスクール構想用端末等の利活用について所管委員会として調査するものであります。

それでは、福祉文教委員会行政視察行程表により現地調査を行います。

これより、しばらくの間休憩とします。

休　　憩（10：01）

（休憩中に現地調査）

再　　開（14：32）

星野委員長　　休憩前に引き続き、会議を再開します。

ここで、一部日程を変更して日程第３、その他を先に議題としたいと思いますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

（３）その他

・路線バス「小出＝荒金＝浦佐線」の運行終了について

星野委員長　　それでは日程第３、その他についてを議題とします。まず、路線バス「小出＝荒金＝浦佐線」の運行終了についてを議題といたします。執行部に説明を求めます。

吉澤市民福祉部長　　それでは、資料につきましては、路線バス「小出＝荒金＝浦佐線」の運行終了についてという１枚ものでございます。内容については、生活環境課長から説明いたします。

小林生活環境課長　　（資料「路線バス「小出＝荒金＝浦佐線」の経過及び概要」により説明）

星野委員長　　これから質疑を行います。質疑はありませんか。

大平委員　　運行密度が0.6、それから運転手不足ということで理解はしました。ただ、今後も数々のバス路線を抱えているわけで、協議会が先ほどあったとお話ございましたけれども、今後の路線バスの運行については、何か協議されたものがあるのか。それとも、この廃止を受けてこのままいくということで認識が一致しているのか。そこら辺はいかがですか。

小林生活環境課長　　ほかの路線についてですけれども、公共交通協議会の場でもその部分について説明いただきましたが、現段階におきましては他の路線の影響は今のところないと。ただ、今後の状況によっては、そういった可能性もなくはないということでございます。

大平委員　運転手不足は全国的に言われていまして、自治体によってはそこに特化した取組をやられているところがあると思います。事業者とすれば、そういう運転手不足について対応するのは、これまで頑張ってきたけれども、なかなかそこに手当てができない状況はあると思います。協議会の中でも、この辺については議論をしていく必要があるのではないかなと。魚沼市は広いですから、それをカバーするためにも事業者だけではなく自治体や地域で、できることを考えていく必要があると思います。そこら辺の中身、協議がありましたらお聞きしたいのと、それから担当課としてその辺について何か考えていることがあるのか、お聞かせください。

小林生活環境課長　その点につきましては、昨年来から魚沼市・南魚沼市・湯沢町、それから南越後観光バスの4者で、協議をこれまでも重ねてきているところです。先週も4者協議を行ったところですが、これまでは一方的な路線の廃止でありますとかそういったような状況を受けていたのですが、その協議会の場では、事務局レベルでの運転手不足解消に向けた取組でありますとか、2024年問題を踏まえた運転手の処遇の改善でありますとか、そういった部分につきましても、それぞれ意見を持ち合わせた中で今後どういった取組が必要かについて検討を続けているところです。また、それぞれの各自治体の地域公共交通協議会の場において、運転手不足の実態でありますとか、運転手の処遇の改善でありますとか、そういった問題をまずは共有していただくようお願いしてまいったところです。それを受けて昨日の協議会でも、運転手の処遇でありますとか運転手不足についての報告があったわけですが、今後そうした内容につきましては協議会で情報共有をした中で、市としても取組を他市と検討し同調しながら、政策反映に向けて取り組んでまいりたいと思います。

大平委員　最後にします。協議をしているという段階で、次にどうしようかというお話は、多分ない。どうしていこうかなというところも見えない。今のお話ですと、そんなふうを受けとれます。2024年問題は随分前から言われていることで、運転手不足も急に始まったわけではなくて随分前から予測されていたし、実際そうやってきた。事業者からも、そういう話があったのではないかなと思います。ここはやはり早急に、それぞれ自治体間での協議の場、それから魚沼市での協議会の場、いろいろなチャンネルがあるわけなので、自治体間で共有できるものと市内でどうやって取り組むのかということを、今年度中、今年中とか目途をつけて考えていく必要があると思うんです。そこら辺、計画等がありましたら聞かせてもらえますか。

小林生活環境課長　今回、4者協議もございしますが、そのほかで市内の交通関係の調査を実施した中で、改めて市内の実態を踏まえて今後の政策検討に入りたいと思いますし、4者協議の中でもそれぞれの自治体の取組事例も紹介、報告を受けているところですが、各自治体によっても若干ベースが異なります。それぞれの自治体に合った内容の取組を具体的に検討してまいりたいと思いますし、次年度予算に向けて引き続き4者協議は継続してまいりたいと思います。

関矢委員　今ほど路線図を見させていただいたんですけれども、この小出の東地域、上原から干溝、それから板木を通っているこの路線がなくなると、ここは乗合タクシーは回っているのでしょうか。

小林生活環境課長　お見込みのとおり、こちらにつきましては小出地域の乗合タクシーがカ

バーしているということでございます。

関矢委員　そうしますと、この地域の人たちが基幹病院に行くとなると、その乗合タクシーに乗って原虫野辺りの停留所で南越後のバスに乗り換えて行けるようになるんですか。

小林生活環境課長　乗合バスの時刻表、それから六日町線の時刻表を踏まえた中で、可能だというふうに判断しております。

関矢委員　今後、A I デマンドシステムが小出地域に導入ということです。先がまだ決まっていなかつたと思うんですけども、これをA I デマンドシステムを入れたときに基幹病院までデマンドが行けるのか。南魚沼で市外になるんですけども、その辺はどうなんでしょうか。

小林生活環境課長　非常に難しいところではありますが、路線バスと重なるような経路になりますと路線バスの運行状況にも影響してまいります。そちらについては今後の六日町線の運行状況も踏まえた中で、将来的には検討が必要だと考えておりますが、現時点ですぐに乗合タクシーが直接、基幹病院へ向かうことは非常に難しいと考えております。

関矢委員　協議会の中で、市がやっている乗合タクシー、デマンドもそうだけれども、南越後との競合する場所。確かにそうなると、非常に難しいです。協議会の中では、今後魚沼市が全体を網羅するような乗合タクシーをやるといふような計画の中で、同じ路線を走らせるというのは難しいけれども、どうするかという話は始めているのかどうか。

小林生活環境課長　先行事例としまして、栃尾又線が時間帯による役割分担ということで、朝夕の大量輸送が必要な時間帯については路線バス、日中の利用が少ない時間帯については乗合タクシーということで再編をした中で、その利用状況は今蓄積しているところです。実際、路線バス運行事業者におきまして、朝運行して昼間仕事なくて夕方ということも、非常に合理的ではないというところで、そういった辺りの地域の交通資源の全体を見た中で、こういった形が一番いいのかというのを交通事業者と協議していくことが必要になるかと思ひます。

星野委員長　ほかにありませんか。(なし) なければ、これで質疑を終結します。本件については引き続き調査することで異議ありませんか。(異議なし) 異議がないようですのでそのように決定いたしました。

・ 障害者相談支援事業に係る消費税について

星野委員長　次に、障害者相談支援事業に係る消費税についてを議題といたします。執行部に説明を求めます。

戸田市民福祉部副部長　本件につきましては、昨年11月と12月のこの福祉文教委員会においてご説明をしておりましたが、今後の方向についてご説明させていただきます。(資料「障害者相談支援事業に係る消費税」により説明)

星野委員長　これから質疑を行います。質疑はありますか。(なし) なければ、これで質疑を終結します。本件については、6月の補正で議案としてあがるということです、引き続き調査することで異議ありませんか。(異議なし) 異議がないようですので、そのように決定いたしました。

・高齢者施設整備の進捗状況について

星野委員長 次に、高齢者施設整備の進捗状況についてを議題といたします。執行部に説明を求めます。

戸田市民福祉部副部長 各高齢者施設整備の進捗状況でございますが、介護福祉課におきましては今年度、南山荘それから地域密着型特別養護老人ホームと、大きい施設整備がございますので、そちらのスケジュールなども含めて委員会の皆様にご説明をいたします。説明は介護福祉課長が申し上げます。

茂野介護福祉課長 それでは、高齢者施設の工費等の概要及び今後の取組状況等につきまして、ご説明申し上げます。（資料「高齢者施設整備の進捗状況」により説明）

星野委員長 これから質疑を行います。質疑はありませんか。

大平委員 個別ではなく全体的に工事が3か所あり、かなり大規模になっています。金額もさることながら工期、スケジュールが示されておりますが、資材だとか工事関係者の手配が、多分能登半島地震の復旧復興ということでかなり取られる形があると思います。そうすると、描いていたものが工期的に難しいとか、金額的にも大幅な増嵩をしなければならぬとかというのは当然考えられます。今のところその見通しについては、知り得る範囲で結構ですが何かつかんでいらっしゃいますか。

茂野介護福祉課長 契約発注はこれからのところでございますけれども、現段階で特にそのような話は設計会社さんも含めまして聞いておりませんが、委員ご指摘のところも今後情報収集をしながら対応を進めていきたいというふうに考えております。

大平委員 情報がありましたら、委員会にも早めにお知らせいただきたい。大事な工事なので。特に工期の遅れとか支障が出てくる部分もあるかと思うので、議会でも議論しながらやっていきたいと思います。そこら辺の周知をお願いします。

星野委員長 ほかにございませんか。

関矢委員 鮎の里も南山荘も、計画のときに私は話をしたことがあると思うんですけれども、指定管理者が決まっているので、この基本設計ができるときに指定管理者の声をという話をしました。その辺は指定管理者から、平面図が出ていますけれども、話し合いはしたことがありますか。

茂野介護福祉課長 ご指摘を踏まえまして、打ち合わせのところには指定管理者も交えまして進めてきたところでございます。

星野委員長 ほかはよろしいでしょうか。（なし）なければ、これで質疑を終結します。本件については、引き続き調査をすることでご異議ございませんか。（なし）ないので、そのように決定いたしました。

・教育委員会関係報告事項

星野委員長 次に、教育委員会関係報告事項を議題といたします。執行部に説明を求めます。

大塚教育委員会事務局長 それでは、教育委員会関係でありますけれど、5点まとめて報告させていただきます。

まず1番目に、小中学校の適正規模等の検討についてです。こちらは令和5年11月に開

催されました総合教育会議におきまして、これまでの学区再編にかかる経過や、近年の出生数の状況について説明したところであります。(資料「児童生徒数の推移推計」により説明)

今年度は少子化によって児童生徒数が減少する中で、子どもたちの学びにとって望ましい学校教育環境はどういうものなのかといったことを検討し、学校の適正規模や配置の検討に着手をすることといたします。まずは、庁内の準備会を立ち上げまして現状や今後の進め方などを共有し、その後、学校関係者や保護者、地域の方などを含めた検討委員会を立ち上げて検討に入る予定としております。当初予算では今年度中にこうした会議を2回開催できる予算を計上しておりますが、準備会におけます今後の進め方ですとかスケジュールによっては、もっと回数を重ねていく必要が出てくるのではないかと考えております。場合によっては予算の補正をお願いすることになるかもしれませんので、その際にはまたよろしくお願いいたします。

続きまして、2番目としまして上条体育館屋根の破損についてです。今年度、4月に入りまして上条体育館を利用している地域の方からの連絡によりまして、上条体育館の屋根、裏側になりますが、軒近くの屋根面が軒に沿って陥没していることが分かりました。原因は雪によるものではないかと考えております。この施設につきましては、普段は地元の方がゲートボールなどに利用しておりますが、指定避難所に指定されている施設でもありますので、雪降り前までに修繕が必要であるというふうに考えております。今年度、当該体育館屋根に除雪用の転落防止装置を設置する予定でありましたので、それと併せての工事の工程を検討したいと今考えております。改修に必要な経費につきましては、できましたら6月定例会で予算の補正をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。また、雪害という観点から建物共済の保険の適用になる可能性もありますが、こちらにつきましては現時点では、まだはっきりしないところもございますので、この保険の対象となった時点で、また別途財源の補正は検討したいというふうに考えております。なお、現在落下物の危険防止のため建物周りの体育館裏には立入りができないようにしている状況になっております。

続きまして、3つ目になりますが、子ども家庭センターの設置についてであります。既に令和6年度の当初予算のご審議をいただいた際にはご説明を申し上げたところでありますが、令和6年4月1日付けで子ども課内に設置となり、看板も掲げて運用を開始しております。実態としましては、これまでは母子保健法に基づく子育て世代包括支援センターが本庁舎内にあり、児童福祉法に基づく子ども家庭総合支援拠点が子育て支援センター並びぷ内にあり、それぞれ連携しながら運用してきておりましたが、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を統合して子ども家庭センターとし、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない一体的な相談や支援を行うというものであります。実際の運用としましては、これまでと大きく変わりませんが、より連携を深め相談者に寄り添った対応に努めていきたいと考えております。

続きまして、4つ目になりますが、乳児期における股関節エコー検診の導入についてであります。乳児期における先天性股関節脱臼等の早期発見のため、4か月検診におきまして今年度から新たにエコー検診を導入しました。これまでは4か月検診で小児科医の診察により判定しておりましたが、エコー検診による画像検査を導入することにより、より確

実に早期発見ができるようになります。実施にあたりましては、4か月児検診の集団検診会場において同時に実施をするということにしております。病院ではなく集団検診会場で実施するという事は、県内では初の取組となっております。検診費用は無料で、去る4月24日に第一回目の検診を行い、13人が受診し混乱なく実施できましたので報告いたします。

最後、5番目になりますが寄附採納についてであります。匿名の市民の方から、4月12日に、市の教育に活用してほしいと1億円の寄附がありました。将来を担う人材の育成に役立てるために、ふるさと回帰育英基金に積み立てて活用することでご了解をいただいております。6月定例会で、行政報告と基金関係の条例改正、それから予算の補正をする予定としております。

私からは以上となります。

星野委員長　これより質疑を行います。質疑はありませんか。

関矢委員　まず、児童数の推計が出ており、今後この学区について検討委員会を立ち上げた中で検討していくということですが、これは実数ですから、小学生だと令和11年まで分かる数字だと思います。中学生は令和17年まで出ています。社人研の人口推移のようなものを使った中で、2050年ぐらいまでを推計として小中学校の生徒数を出しておいたほうが検討はしやすいだろうと思うんですけど、その辺は出せるのかどうか。

大塚教育委員会事務局長　社人研のデータ等を使いますと、もっと先の推計もできるかと思いますが、本日提出の資料は実数であり、令和4年、令和5年に生まれた子どもの数もこれにプラスされ、将来的にはほぼ確実に見える実数、確実に分かる部分となっております。社人研になりますと推計ということで上振れ、下振れする可能性もあります。不確かな部分もありますが、委員ご指摘のとおり、ある程度先の部分も推計はできると思います。また今後、検討する中では、そういった数字等も拾い出しながら話を進めていきたいと考えております。

関矢委員　これから検討委員会を始めてどうなるか分かりませんが、将来的に10年、20年先のことで、ある程度、推計人数を出した中での検討は必要だと思いますので、その辺は考慮していただければと思います。もう1点ですが、匿名の方から1億円のご寄附ということですが、前回も7,500万円を匿名の方から寄附をいただいた。話ができるのか、同じ人なのかどうか。それは答えられますか。

大塚教育委員会事務局　ご寄附をされた市民の方につきましては、匿名でということでしたので、この場ではここまでにさせていただきたいというふうに考えております。

大平委員　生徒数の減少が示されたので、学区再編を含む今後の学校運営の在り方も含めて検討するんでしょうけど、午前中の現地調査とかにも絡む問題かなど。多様な学びやそれぞれの減少人口とかありますが、十分に子どもが教育を受ける環境を整備していただきたいなと思っています。頻度を上げて協議をすることもという話をされましたので、ぜひそういう場でもいろんな人たちから加わってもらって、魚沼市の今後の学校教育の在り方をいい機会ですのでやっていただきたい。その辺についてご意見あれば聞かせていただきたいなと思いますが、いかがですか。

樋口教育長　ご意見ありがとうございます。この資料のように、子どもたちの数が減ってきているに伴う学校教育の環境が悪化していくであろうところが、一番懸念され

るところです。検討委員会への諮問の仕方をどうするかということもありますが、こういう子どもの数を見ていただきながら、適正規模というか、規模としてどういうことが望ましいのかという辺りの検討をしていただくとともに、具体的にどういう学区再編をするんだというところについては、地域の皆さんの理解と意向、合意が必要だと思います。それについては、各地域で丁寧な説明と、保護者、地域の皆さんがどう考えるのか、そこをやっぱり大事に進めていかななくてはいけないというふうに思っております。ですので、今年是最初の検討委員会の立ち上げということになりますが、そんな話がまとまっていくにはまだまだ時間を要するだろうなと思っています。丁寧な説明と合意を進めていきたいなというふうに思っています。それから、委員がおっしゃったような多様な学びの場ということについては、小規模校の場合は小規模校のまた良さもあります。今現在は小中一体となった義務教育学校の制度もありますし、市内のどこからでも通えるという特任校という制度もありますので、あらゆる可能性は提示した上でどのような形を選択していくのかということ、市民の皆さんと一緒に考えていくという基本的な方向で進めていきたいと思っています。

大平委員　ぜひその方向で進めていっていただきたい。それから、上条体育館の屋根の縁のところへこんでいる。中は雨漏りとか、使っていたらまずいというレベルの話はないのか、その中身をよく聞かせてもらえますか。

青柳生涯学習課長　現状、雨漏りをしているだとか、例えば大きく穴が開いていて鳥が入ってくるとかということはございません。今のところは使えている状況になっております。

大平委員　屋根のこの部分だけではなくて、施設も大分年数が経っているかと思います。今回、屋根の縁の部分ですが、屋根の全体をきちんと調査してやっていただきたいんですけど、そこら辺はどういう考え方でしょうか。

青柳生涯学習課長　先ほど教育委員会事務局長が申しましたとおり、屋根に設置をする別の設備工事がございますので、その際に全体を見させていただきながら、ほかの傷みがないか確認をしながらやっていきたいと思っています。

大平委員　ぜひそういった形でやっていただきたいと思っています。もう一つ、子ども家庭センターでしょうか。このセンターの役割というのは、今お聞きするとそんなに変更がないと。これは国の制度改正とかにあわせてのことだと思いますが、一体的に相談支援や対応ができるような子育て支援ということでおっしゃっていました。子育てするなら日本一とうたっている我が市でありますので、やはりそういう角度で自慢できるような本当にいい制度をつくっていただきたいと同時に、僕が思うのはやっぱり地域の住民の方と絡んで、本当に地域で子育てして本当にいいなと思えるような環境をつくっていただきたい。例えば、よその自治体に行ったら、NPOだとかそれぞれの団体の方々が楽しく子育てできるような環境を、行政もそうだし民間もつくっている。そういうのをどんどんつくっていけるような形にしていいただきたいと思うので、住民との絡みについてはどのようにお考えなのか、お聞きしたいと思っています。

樋口教育長　委員ご指摘のように、NPOですとか子育て支援関係の団体等の活動も、やはり大事な部分だと私も思っています。生涯学習で家庭教育講座等を開催しておりますけれども、今後もそういう団体の育成等に努めていきながら、孤立しがちな子育ての皆さんを市民みんなで支えていくという体制は大事だと思っていますので、生涯学習、社会教育の

事業の中でぜひ展開していきたいと思っております。

大平委員 ソフトの面で人的な支援とか人材育成が非常に大事だと思います。そこについて、他市の例を見て勉強しながらやっていただきたいと思います。こういう若者が激減している中で、でも高齢者や私たちから上の年代の人たちは何をすればいいのかというのを、率直に語り合えるような場もつくれたらいいなと思っています。そういう面で、多様な集まりや学びの場があったらいいかなというふうに思うので、ぜひそこも検討していただければと思います。

星野委員長 ほかにありませんか。(なし) なければ、これで質疑を終結します。本件につきましては報告事項でありましたけれども、また状況等が変わるようなことがございましたら、この委員会に報告していただくということでもよろしいでしょうか。(異議なし) では、そのように決定いたしました。

そのほか、執行部のみなさんから、報告事項等はありませんか。

吉澤市民福祉部長 それでは、健康増進課関係から2点ご報告いたします。

まず1点目は、新型コロナワクチン保存用超低温保冷庫等の処分についてであります。市では新型コロナワクチンの保管のため、新型インフルエンザ等対策特別措置法、第64条の規定に基づき国から超低温冷凍庫3台及び低温冷凍庫2台の無償譲渡を受けております。令和5年度末で特例臨時接種が終了したことに伴い、厚生労働省はその処分方法を譲渡先の自治体に委ねております。これを受けまして、本市では今後ワクチン保管の使用予定がないこと、それから庁内及び市内医療機関での利用希望がないことから、県を通じて融通希望のありました新潟大学へ譲渡したいというものであります。本件は、魚沼市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例に規定する議決要件には該当しないということでありますので、本委員会報告の後に市長決裁を受け手続きを進めたいと考えております。

2点目であります。入広瀬診療所における処方箋薬宅配サービス「とどくすり」の開始についてであります。診療所で診察を受けた患者に、ビデオ通話で薬剤師が服薬指導を実施し、最短で翌日に薬が自宅に届く「とどくすり」。これは、おかびファーマーシーという事業者で、TOPPANホールディングスの子会社が提供するサービスでありまして、これが4月2日に運用を開始しております。診療所としては、院内処方のための人員の省力化が期待できるということと、患者側としましては薬局に行き処方箋を提示して薬を受け取る手間と待ち時間が軽減されるということから、持続可能な遠隔医療体制の構築が期待されるものであります。まだ運用してから時間があまり経っていないということもありまして、患者側の反応はまだ医療公社から受けていませんけれども、今後も進めてまいりたいというふうに考えております。以上であります。

大塚教育委員会事務局長 1点追加で報告です。体育館の冷房施設の整備につきまして、今検討しております。昨年度の非常に暑い夏がまた今年度もあるような話もありますけれど、検討の進み具合によりましては年度中の補正予算の可能性もあります。この辺につきましては、はっきり固まっていない部分でありますので、こういった検討をしているというお話だけさせていただきたいと思います。以上です。

星野委員長 委員のみなさんからは、執行部に対して何かありませんか。

佐藤委員 只見線沿線の歯科診療所について、お伺いいたします。昨年12月22日に広瀬歯

科が廃院になりまして、既に4か月以上経っております。地域の方々が非常に困っているという報告を受けています。先月、守門診療所も5月16日までということで公募に入っています。その後の対応はどのように考えているか、お聞かせいただきたいです。

吉澤市民福祉部長　委員おっしゃったとおり、5月16日までが公募の期間でありますので、今の時点では公募の期間が終わった後に選定に入ること以上は、今の時点では申し上げられることはございません。

佐藤委員　申し上げられませんが、もう4か月以上経って非常に困っている人がいる。できれば早めに、公募の締切が終わったら対応を願いたいと思います。その辺をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

吉澤市民福祉部長　もちろん事情もお聞きをしているところでありますが、いずれにしても公募期間終了後は速やかに次の手続きに移るつもりであります。

佐藤委員　私の家の前に旧施設があるんですけども、それについても早めに改築してオープンするというような話は聞いていたんですけども、看板が撤去されて、その後、毎日見ているんですが全く動きがありません。その辺のお話は伺っていますか。

吉澤市民福祉部長　状況は委員おっしゃるようなことと認識しておりますが、私どもとしても特に情報は持っておりません。

佐藤委員　いずれにしても、そういった状況で只見線沿線は1件も歯医者がないということと、通院ができなくて訪問診療を望んでいる声を多く聞きます。その辺を踏まえて、対応と検討を願いたいと思います。

星野委員長　ほかにありませんか。(なし) ないようですので、現地調査の総括に移りたいと思います。ここで一旦休憩を取り、現地調査を所管する担当部局以外は退席いただきたいと思います。しばらくの間、休憩願います。

休　　憩（15：35）

（執行部　教育委員会事務局以外の退席）

再　　開（15：36）

星野委員長　休憩を解き、会議を再開いたします。

（2）現地調査の総括

星野委員長　日程第2、現地調査の総括についてを議題といたします。本日は、4か所の現地調査を行ないましたので、これより総括を行います。皆さんから総括意見として、順次、発言をお願いします。4か所まとめてでもいいですし、気になったところだけでも、たくさんありますのでそれでもいいです。大平委員から、お願いします。

大平委員　今日は4か所とも見せていただいて、私自身もしばらくぶりの市内視察でしたから、大変参考になりました。気がついたことだけ申し上げたいと思います。

一つは、旧広神庁舎の展示室についてです。レイアウトも変わり、そういう施設らしくなったなというふうに思っていて、中についてはあまり言うことはないです。ただ、今後考えていくことはあるかと思いますが、壁とか、資料館という形よりは訪れた人が楽しく

過ごせるような場所にぜひしていただきたいなと思います。例えば、展示室だけじゃなくて、入り口の右側のところに椅子とか置かれてあったところも工夫し、魚沼らしいお客様を迎えるような感じでレイアウトしていただければいいなと思います。中の壁とかも大いに利用して、施設によっては大きな壁に、例えばデザイナーの方が作品を壁いっぱい描いていくとか、あるいは子どもたちが思いを込めた絵をデザインして描いてあるようなところも私は見たことがあります。本当に来て楽しくなるような、施設全体がそのようなものにしていただきたいなと思います。

もう一つは、先ほど現地でも言ったんですけれども、お客様を迎えるために外の入り口のところとか駐車場の入り口とかも、もっと特徴的な施設にする一環でレイアウトをしたりモニュメントという話がありましたが、魚沼らしさを考えていただければと思います。それは多分関わっている方だけだと難しいかもしれないので、例えば若者の意見を取り入れるとか、あるいはそういうことに興味がある方々のご意見を取り入れたたりし、魚沼らしさを出していただきたいなと思います。

それから、フラワーームについては、堀之内にあった頃は行ったことがあるんですけれども、今回初めて行かせていただいて本当によかったなと思います。それぞれいろんな事情があるかもしれないけど、若い人たちがあのようなところに行って自分の居場所、自分の自己表現としてイラストなんかを描いているところを見ると、非常に能力がある子たちなんだと改めて思ったので、あのような場をあそこだけではなくて、さっきも言った多様な学びの一つとして、もうちょっと展開していただければなというふうに思っています。前にも教育長はそういうことを言ったと思いますが、ぜひその1か所だけではなくて複数箇所にできればいいなと思います。十日町市では、若者の居場所づくりを一生懸命やっている。空き家を活用した居場所づくりも見たことがあります。そういう多様なところで展開できればというふうに思います。非常に参考になりました。

それからGIGAスクールで、広神東小学校のところでタブレットとパソコンが両方あるというのを、学校によっては数的にちょっと違うというような話をされていましたが、ぜひ早期に同じようなタブレット端末の環境ができればいいなと思いました。

そのときには聞かなかったんですが、こういうGIGAスクールでタブレットを使った授業に替わったときに保護者負担というのは現状でどうなっているのか、もし分かったら教えていただければと思います。ある程度負担が発生しているのか、それともそれはある程度公的なところで賄いきれているとか、いろいろ細かいところでは多分あるんじゃないかなと僕は思ったんですけど、聞かせていただければと思います。

星野委員長　　今ほどのところで、回答できることがありましたら、樋口教育長からお願いします。

樋口教育長　　GIGAスクール構想に伴う保護者負担、経費負担ですけど、基本的にはありません。ただ、家庭に持ち帰ったときのネット等への通信費用は各家庭持ちになります。それから破損した場合ですけど、落下等による破損は今のところ予算も取り公費で負担をしています。ただ、明らかに故意で壊したというような場合は、保護者の方に負担をしていただきますというふうには、お話をしております。

佐藤委員　　広神庁舎へ行って、いい感じにできたなというふうに感じました。せっかくいいところに造ったので、事前に宣伝とか、特に看板等を設置して大勢の市民の皆さんから見

ていただくようにPRをお願いしたいと思います。

フラワールームも行ってみまして、いろいろ事情を抱えていると思うんですけども、それぞれ生かせるところを生かせば素晴らしい成果が出てくると思いますので、ぜひ活用していただきたいと思います。

GIGAスクールですが、やっぱり小さいうちからそういった教育をしていくということとは非常によいことですので、ぜひ続けていただきたいと思います。以上です。

関矢委員　まず、文化財の展示スペースですけども、大変いいのができているんですけども、建築確認の200平米の壁といいますか、あれがちょっと面積的に小さくてもったいなかったかなというのが印象です。

それと、フラワールームですけども、予想以上に生徒数が多い。それはいい施設だからというのもあるでしょうし、またそういう子どもたちが増えたからということもあるかと思います。中学生の数が多かったなど。それと、堀之内中学校に行ったとき、一クラスで英語の授業でしたけれども、28人中7人の机が空いていました。何かの病気で休んでいるのか、不登校なのかは分かりませんが、やっぱりそれだけ中学生になると多いのかなというのは感じました。

あと、GIGAスクールですけども、各小中学校にお任せして毎日自宅へ持っていってみるとか、学校に保管しておくとか、あるかと思います。その辺は教育委員会としてどういう方向性を出すのか分かりませんが、各学校ごとに差がつくのかなという気がいたしました。あと、それを使う先生方、非常に一生懸命でいろいろネットから教材を選んできて、先生方の能力といいますかやり方なので、その先生方によっては大分差がついているのかなというのはあるかと思います。その辺の今後は、やっぱりある程度調査をした中で、いいものは教育委員会としてこういうものを使ったらどうだと各学校に知らせるのも大事なのかなというふうに感じました。以上です。

樋口教育長　GIGAスクールについてですけど、方向性についてはどんどん活用してほしいということで依頼をしていますし、情報教育について、市としての計画もつくって各学校に示してあります。どの学年でどのくらいの技能を身につけるといいうのを全部示してありますので、それに基づいてセキュリティの件も含めて身につけてもらうようには進めているところです。それから、先ほどお話をしました破損の費用も予算を盛っていますので、壊れることを恐れず持ち帰りもどんどんやってくださいということで活用をお願いしています。加えて、最近はやっぱり出欠席の報告とか、朝来て自分の健康状態とかも1人1台端末を使ってアプリを活用して集約するというような動きもありますので、そういうものはどんどん紹介をして、今のシステムでもできるのでぜひ活用してくださいというような、活用の推進の方向性は示していますけれども、「いや、やっぱり出欠や健康状態は対面で話をしながらしないと。」という学校の方針もあるので、そこは尊重しながら進めているところです。それから、どうしても教員による差は生まれてくるものと認識をしていますので、教育センターでICT研修を年間何回もやっていますので、先生方に参加をしていただいたり、市内の先生方の実践例をそこで発表してもらってみんなで共有したりというようなことは、教育センター事業として展開をしているところです。

関矢委員　堀之内中学校で、ノートパソコンが2台だけというような話があったかと思いますが、2人の生徒がそれを使っているのかなというふうに想像したんですけど、現状がどう

なっているか分かりません。ただ、2人だけがノートパソコンで、ほかのクラスがタブレットというのも、非常にそれはまずいのかなと。一クラス全部があればいいんですけど、その辺の現状はよく分かりませんが、そんな話があったみたいです。もし2台だけでするのであれば、教育委員会として予算を計上して同じタブレットをそろえるという配慮があるのかなという気はしました。

星野委員長 その2台について分かる方がいらっしゃれば、いかがでしょうか。

樋口教育長 今のところの説明だと、生徒数の減少に伴ってノートパソコンを使っているのが、まだ2台とおっしゃっていたので、現地で説明しましたようにノートパソコンも含めて1人1台端末という設定で国はきいているので、その後、生徒数の減少でノートパソコンを使っている子がまだ若干いるという状況だと私は理解したんですけど、委員がおっしゃることもわかりますので、学校に確認をしてみたいと思います。

高野委員 旧広神庁舎の関係でありますけれども、非常にいい施設になっていると思いました。少し小さいかなという心配があります。

フラワールームの関係でありますけれども、中学生が多いということについてびっくりしましたが、実態はそういうことなのかなと感じました。

あと、情報教育の関係でありますけれども、教科によっては非常に効果があると感じましたし、特に英語の関係ではいいのかなという感じがあります。それから、中学校ですけれども、宿題の持ち帰りということがあって、そういう面では宿題等についてはいいのかなという感じがありました。ただ、毎日持っていくのがいいのか、週単位がいいのか。週一回では中学生にはちょっと難しいのかなと。難しいというのは、勉強の関係で効果がもう少しあったほうがいいんじゃないかという感じはしました。以上です。

横山副委員長 今日はありがとうございました。広神庁舎の文化財の件ですが、先ほども高野委員が言ったように、私ももう少し広いのかなと思ったんですが、わりとコンパクトになっていた。ということは、逆に言うと魚沼市の文化財としての特徴をしっかりと前に出さないと薄くなるのかなと思います。縄文土器であれば縄文土器のその発掘された洞窟だとか、そういう面をしっかりと出した上で、その特徴を補完するような形の展示方法が私はいいいのかなと思いました。それとあわせて市民や市外の人たちにアピールするためには、やはり門の先にこんなものがあるよというようなモニュメントみたいなものでアピールできればなと思いましたのでお願いします。

それから、フラワールームですが、児童生徒数が多いことは分かっているんですけど、特に女の子が多いと思うんですが、その辺の人数が分かたら後で教えてほしいです。やはり、特に女の子であればなおさらいろんな面で母親との関係だとか祖父母だとかの関係でいろんな悩みを持っている部分が私はあるのかなと思うんで、逆に言うと地域のボランティアで体験交流なんかをしながら、体験交流すると子どもたちは結構変わってくると思っています。男の子は、いっぱいいれば畑仕事だとか山だとかというふうに出せばいいんですが、女の子であれば例えば笹団子をみんなで作るとか、そんな交流活動で心をほぐしていくことも大事かなと思っています。せっかくいい施設ですので、来た子どもたちを自立させるための手だてとして何が必要かという視点でお願いしたいなと思います。もう一つは、先ほども現地で話しましたが、なるべくそういうところに来なくてもいいような学校であったりまた地域であったりというのが一番なわけですが、様々な子どもがいること

も分かっていますので、その辺のところをお願いしたいと思っています。

それからGIGAスクールですが、教育的ないろんな形での能率化・効率化に非常に便利な道具だなということが実際に見て分かりました。その便利さに子どもたちが慣れすぎて、先生方も慣れすぎると、またそこで様々な問題が今後出てくるのかなと思っていますので、その辺のところをしっかりとチェックしていただければなと思っています。その中で、堀之内中学校の先生から相談機能としての使い方もあるということでした。要するに、表現しない、できない子どもがタブレット等に打つ。ということは逆に言うと、いろんな心の悩みをそういうところに打ったものを先生方が見るという、そういう生徒指導的な相談機能が何かあれば、また使い勝手がいいのかなと思います。反対に、使い方のレベルが高くなってくると、今度は悪用して使っているのではないのかなとか、いじめ関係でそういうものがあるんじゃないのかなとか、そういう問題が今までもあったと思うんですが、そういうところをどういうふうにするかということも、しっかりと気配りしておかないとまた問題が起きそうな気がしますので、要注意かなと思っています。

星野委員長 ありがとうございます。執行部からも補足説明等がありましたら、お願いいたします。

樋口教育長 GIGAスクール関連ですけれども、今日ご覧いただいたような形で使っています。国がやっています全国学力学習状況調査、小学校6年生と中学校3年生の悉皆調査ですけれども、児童への質問がありまして、子どもに国語が好きですかとかどのくらい勉強していますかとか質問があるんですけど、それは今コンピューターを通じて回答しています。行く行くは本体の教科のテストも恐らくコンピューターで全部回答するという方向で進んでいます。テストのCBT化といいまして、コンピューターベースドテストといって、国は全部そちらの方向でやろうとしています。道具としては今後ますます必要不可欠なものなんだろうなと思っています。

岡部学校教育課長 今ほど質問のあった、女生徒の人数の関係なんですけれども、これはフラワールームに来ている人数ではないんですが、令和5年度の3月末時点での不登校児童生徒の状況での人数になります。小学校では、全体では20人余り不登校として把握しているんですけど、男子児童が6人、女子児童が14人で、やっぱり女子が多いです。中学校につきましては、合計で53人で、男子生徒24人、女子生徒26人。こちらは率としては下がっています。

星野委員長 ありがとうございました。ほかはよろしいでしょうか。（なし）皆様から意見・感想等をいただきました。かねてよりGIGAスクール構想が今どのような状況になっているのかということと、フラワールームに通う不登校生徒が増えて、今どのような状況になっているか知りたいということで、今日の市内視察の計画が進みまして、やっと思って行くことができました。執行部の皆様、どうもありがとうございました。

不登校が増えていても、フラワールームにあればだけの人数が行けているだけでも、私は外との関わりができていと安心した部分もあるんですけども、堀之内のときの規模に比べて非常に居心地のいい、活用しやすいところに移って、子どもたちも伸び伸びしているような感じが見て取れましたので、ありがたいなというふうに感じました。

GIGAスクールのところは、小学校も中学校も1個ずつしか見ていないので、ほかの学校がどんなものかというのは分かりませんが、実際はやはり学校の先生や各学

校の進み具合によって、また活用の仕方、校長先生の方角性によっても違うのかなというふうに思いましたが、先ほどの教育長の話ですと、いろいろなことをされていて格差がないように努力されているということが分かりましたので、その部分も安心いたしました。

それでは、ただいまの意見をまとめまして総括にしたいと思います。また、この件につきましては引き続き調査していくことにしたいと思いますますが、異議ありませんでしょうか。（異議なし）異議ないようですので、そのように決定いたしました。

それでは、執行部の皆様、長い時間、今日はどうもありがとうございました。この後の日程は委員会内部での調整になりますので、執行部は退席いただきたいと思います。しばらくの間、休憩といたします。

休 憩（16：00）

（執行部 教育委員会事務局 退席）

再 開（16：01）

星野委員長 休憩を解き、会議を再開いたします。

・福祉文教委員会の行政視察について

星野委員長 時間も大分押してきましたけれども、最後の議題になります。続きまして、7月下旬の福祉文教委員会の行政視察について、行程表（案）のとおり調整しております。一番最初に、視察に行きたいところを提出してもらいまして、出されなかった方についてはこちらにお任せいただくというふうに認識いたしました。出していただいた内容で現地も内定が出たところで日程を作っていただきました。7月22日から24日の2泊3日で、1日目が富山県の小矢部市で介護、高齢者支援事業の先進例について。翌日が、石川県の小松市でライドシェアのことについて。最終日が、滋賀県の野洲市で余熱利用施設整備運営事業についてということで視察の予定をしております。こちらについて、ご意見等ありましたらお願いいたします。（なし）ないようですので、この日程で進めたいと思います。

ほかに委員の皆さんからご意見、協議事項等はありませんか。（なし）では、本日の会議録の調製については、委員長に一任願います。本日の福祉文教委員会はこれで閉会とします。

閉 会（16：03）